

## 肉用牛広域後代検定推進事業

藤森祐紀・笹沼清孝・大川清充・木村安之<sup>1</sup>

### Individual Performance Test of Sire in Japanese Black Cattle

Yuuki FUJIMORI, Kiyotaka SASANUMA, Kiyotaka OHKAWA and Yasuyuki KIMURA<sup>1</sup>

#### 要 約

黒毛和種雄子牛5頭について、(社)全国和牛登録協会が定める産肉能力検定直接法に基づき飼育し検定した。

検定の結果は、1日平均増体量の平均が1.18kgで、発育判定3以上を示したものは4頭であった。5頭のうち2頭を選抜し、後代検定を実施する。

キーワード：牛、種雄牛、直接検定、改良

#### 緒 言

肉用牛の改良を図るため、優れた種雄牛を選抜することを目的に、肉用牛広域後代検定推進事業により選定された基礎雌牛から、指定交配により生産された雄子牛4頭を選抜し、(社)全国和牛登録協会が定めた産肉能力検定直接法に基づき飼育し検定した。

#### 材料および方法

##### 1. 供試牛

茨城県肉用牛広域後代検定推進事業で選定した基礎雌牛から、指定交配により生産された生後日齢215～233日齢の雄子牛5頭

##### 2. 検定期間

112日間とし、検定開始前20日間を予備飼育に充てた。

##### 3. 飼養管理

牛舎は舎内10.7m<sup>2</sup>に11.2m<sup>2</sup>の運動場を併設した単房式で、給水はウォーターカップにより、給塩は鉱塩を用いて自由摂取させた。

敷料はおがくずを使用し、牛床の清掃は毎日実施した。また、削蹄は適宜実施した。

飼料は新産肉能力検定(直接法)用配合飼料を体重比1.3%給与した。併せてチモシーの乾

草を草架から自由採食させた。

##### 4. 調査事項

体重測定は2週間毎、体各部の測定は4週間毎に実施し、開始時と終了時に体型評価を行った。

飼料摂取量は毎日調査し、摂取養分量は「日本標準飼料成分表」2000年度版より算出した。

#### 結 果

1. 検定を終了した5頭の成績は表のとおりである。
2. 1日平均増体量の平均は1.18kgであった。
3. (社)全国和牛登録協会が定めた体高値による発育判定は5が1頭、3が3頭であった。
4. 検定を終了した5頭のうち、安勝、福茂光を選抜した。

<sup>1</sup> 現 農林水産部畜産課

直接検定成績の概要

整理番号	334	335	336	337	338	
名号	第10菊光	安勝	正栄	茨安福	福茂光	
登記記号番号	2005子全茨黒 1205799195	2005子全茨黒 1232195311	2005子全茨黒 1183169102	2005子全茨黒 1182991742	2006子全茨黒 1230764458	
生年月日	H17. 8. 5	H17.10. 7	H17.11.30	H17.11.28	H18. 3.22	
生時体重						
父	明光4	平茂勝	福栄	茨北安	福栄	
母	きくやす	ふゆみ	きたきくはれ	やすこ	いとひらしげ	
検定開始年月日	H18.3.15	H18.5.10	H18.7.19	H18.7.19	H18.11.8	
開始時日齢	222	215	231	233	218	
開始時体重(kg)	237	244	223	213	240	
開始時体高(cm)	110.0	109.6	109.0	108.0	106.8	
検定終了年月日	H17. 7. 5	H18. 8.30	H18.11. 8	H18.11. 8	H19. 2.28	
終了時体重(kg)	385.0	380.0	331.0	330.0	363.0	
終了時体高(cm)	123.6	122.0	121.0	120.0	129.0	
1日平均増体量(kg/日)	1.32	1.21	0.97	1.05	1.35	
終了時審査得点	82.3	82.5	81.5	81.2	83.9	
365日齢補正体重(kg)	425.9	426.0	352.3	351.0	472.7	
粗飼料摂取率(%)	52.0	52.0	52.0	50.0	48.0	
期待 育種価 順位	枝肉重量 ロース芯面積 脂肪交雑	5 1 5	1 3 4	3 5 3	4 2 2	2 4 1
発育		3	3	2	3	5
終了時 体型特徴	優点 欠点	発育 前軀 体上線 頭頸	体伸 被毛 肩 体上線	資質 体上線 発育 肩つき	体深 発育 品位	発育 体深 体上線 肘後
選抜の有無		不合格	選抜	不合格	不合格	選抜